

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-79	高等学校	理科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2・東書	地基 002-901	改訂 地学基礎		

1. 編修の基本方針

本教科書は、生徒が、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実習などを中心にして学ぶことを通して、地学の基本的な概念や原理・法則を理解しつつ、地学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指して編修しました。そのため、身近な事物・現象を題材にした話題を豊富に掲載し、生徒の興味・関心を高めることに意を用いました。また、科学的に探究しようとする態度を養えるように、本文中に適切な課題、実習、気づきを生む問いかけなどを配置しました。

本教科書は、近年の高校生の学力の傾向や学習指導の実態を考慮しつつ、教育基本法に示された教育の目標を達成し、上記の資質・能力が身に付くよう、下記の基本方針に基づいて編修しました。

- (1) 学習した項目を互いに結び付け、地学基礎の全体像が見通せるように配慮し、理科の見方・考え方を養い、科学に対する興味、関心を高め、生徒自らが課題意識と見通しをもって問題解決的に学習ができるように内容を配列する。
- (2) 主体的・対話的な学習活動、実習を通して、生徒自らが科学的な概念を習得し、知識を深めたり、系統化したりできるように配慮する。
- (3) 地学と日常生活や社会との関連に関わる記述を充実させ、生徒の思考や興味・関心が、学習内容の理解にとどまらずに、学習内容と日常生活や社会との関わり、地学の有用性を実感できるようにする。
- (4) 私たちの生活を取り巻く諸課題に対する、科学的な思考力・判断力を養うとともに、主体的・協働的に行動する、持続可能な社会づくりの担い手を育むようにする。
- (5) 中学校との接続を意識して、生徒が読みやすく、理解しやすい簡潔な本文記述にする。また、資料性の高い豊富な図表・写真を多用し、生徒が楽しく無理なく基礎学力が身に付くようにする。
- (6) 地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きるために必要な力を生徒自らが身に付け、生命を尊重し自然や環境の保全、社会の形成・発展に寄与できるようにする。また、近年の地球環境の変動に対する人間の諸活動の影響について、国際社会の協働による解決を考えさせるようにする。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 編 私たちの大地 ■ 1 章 大地とその動き ■ 2 章 地震 ■ 3 章 火山活動	幅広い知識と教養を身に付けることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました（第1号）。	[1 章]12-17、20-21、29 ページ [2 章]38-39 ページ [3 章]47、49、57 ページ
	最先端で進められている研究、日常生活や社会と関わる研究や防災などの例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身に付けられるようにしました（第2号）。	[1 章]21、28 ページ [2 章]31、36-39 ページ [3 章]44-49 ページ
	探究的な学習活動を通して科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました（第3号）。	[1 章]12-14、16-17、18、22-23、24 ページ [2 章]30、32-33、34、36 ページ [3 章]40、42、44、48、50、54 ページ 60-61 ページ
	日常生活、防災に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました（第4号）。	①-1、10-11 ページ [1 章]12、17、19、28 ページ [2 章]30-32、34-35、36-39 ページ [3 章]41、42-43、46、48-49、50、53、56 ページ
	国際社会の協力を通じた視点での、科学技術の発展について考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身に付けられるようにしました（第5号）。	①-1 ページ [1 章]14、21 ページ [2 章]38-39 ページ [3 章]42-43、44-47、48-49、53、54-55、56 ページ
2 編 私たちの空と海 ■ 1 章 地球大気の特徴と構造 ■ 2 章 大気の特徴とその運動 ■ 3 章 海水の特徴とその運動 ■ 4 章 日本の天気と気象災害	幅広い知識と教養を身に付けることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました（第1号）。	[1 章]64 ページ [2 章]82 ページ [3 章]86、89、90-92 ページ [4 章]94-95 ページ
	最先端で進められている研究、日常生活や社会と関わる研究や防災などの例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身に付けられるようにしました（第2号）。	[1 章]64-65、67、68、70、72-73 ページ [2 章]75、80-81 ページ [3 章]84、87、88、90-92 ページ [4 章]94-99 ページ
	探究的な学習活動を通して科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました（第3号）。	[1 章]64-67、68、70 ページ [2 章]74、78-80、82 ページ [3 章]84、86、88、90 ページ [4 章]94、96 ページ 102-103 ページ
	日常生活、防災に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました（第4号）。	[1 章]64、67、68-73 ページ [2 章]75-77、80-81 ページ [3 章]84、87、88、90-92 ページ [4 章]94-99 ページ

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
	国際社会の協力を通じた視点での、科学技術の発展について考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身に付けられるようにしました（第5号）。	62-63 ページ [1 章]65、68 ページ [2 章]75、80-81 ページ [3 章]87、90-92 ページ [4 章]94-99 ページ
3 編 私たちの宇宙の誕生 ■ 1 章 宇宙の構造と進化 ■ 2 章 太陽系の誕生	幅広い知識と教養を身に付けることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました（第1号）。	104-105 ページ [1 章]106-109、110、113 ページ [2 章]116-117、120、125、126-127 ページ
	最先端で進められている研究、日常生活や社会と関わる研究や防災などの例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身に付けられるようにしました（第2号）。	104-105 ページ [1 章]106-109、113 ページ [2 章]116-117、120、125、126-127 ページ
	探究的な学習活動を通して科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました（第3号）。	[1 章]106、108、110、112、114 ページ [2 章]116-117、118、120、122、124、126-127 ページ 130-131 ページ
	日常生活に関わる事項について学び、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました（第4号）。	104-105 ページ [1 章]110-111、112、114-115 ページ [2 章]118-119、124-125、126-127 ページ
	国際社会の協力を通じた視点での、科学技術の発展について考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身に付けられるようにしました（第5号）。	104-105 ページ [1 章]106-107 ページ [2 章]120-121、123、124-125、126-127 ページ
4 編 私たちの地球の歴史 ■ 1 章 地層と化石の観察 ■ 2 章 古生物の変遷と地球環境	幅広い知識と教養を身に付けることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました（第1号）。	132-133 ページ [1 章]136、112、144-145 ページ [2 章]148、157、158-159、160、161-163 ページ
	最先端で進められている研究、日常生活や社会と関わる研究や防災などの例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身に付けられるようにしました（第2号）。	[1 章]137、145 ページ [2 章]147、148、157、158-159、161-163 ページ
	探究的な学習活動を通して科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました（第3号）。	[1 章]134、140 ページ [2 章]146、148、150、154、156、160、161 ページ 166-167 ページ
	地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました（第4号）。	[1 章]135、137、140-145 ページ [2 章]146-147、148-149、150-153、154-155、156-157、161-163 ページ

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
	地球環境の変動に、近年では人間の諸活動による影響も加わっており、国際社会の協力を通じた視点での解決を考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身に付けられるようにしました（第5号）。	132-133 ページ [1章]134-137、141、142、144-145 ページ [2章]150、153、154、156-157、159-163 ページ 166-167 ページ
5 編 地球に生きる私たち ■ 1 章 日本の自然の恵みと防災 ■ 2 章 地球環境と私たちの生活 ■ 終章 これからの地球環境	幅広い知識と教養を身に付けることに加え、現在も続く科学の解明に関わる人類の努力について常に意識させることにより、地学的、ひいては科学的なものの見方を考え、科学的な真理を追求できるようにしました（第1号）。	168-169 ページ [1章]173、174-175 ページ [2章]176-178、180-181、182-185 ページ [終章]186-189 ページ
	最先端で進められている研究、日常生活や社会と関わる研究や防災などの例を取り上げることにより、職業としての科学研究や防災活動について理解し、勤労を重んずる態度を身に付けられるようにしました（第2号）。	168-169 ページ [1章]173、174-175 ページ [2章]178、180-181、182-185 ページ [終章]186-189 ページ
	探究的な学習活動を通して科学の方法を習得させ、地学的に探究する能力と態度を育てられるようにしました。こうした探究活動を協働して進める過程を通じて、男女の平等や自他の敬愛と協力を学べるようにしました。また、協働的な学習活動を通して、人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、社会の形成・発展に与えるようにしました（第3号）。	168-169 ページ [1章]170、172、174 ページ [2章]176、182-184 ページ [終章]186-189 ページ
	地球や地球を取り巻く環境について学ぶことにより、環境問題の解決、自然の恩恵の享受や、防災といった、生物の生存や人間が生きていくために必要な力を、生徒自らが身に付けられるようにし、生命の尊重・自然や環境の保全に与えるようにしました（第4号）。	168-169 ページ [1章]170-175 ページ [2章]176-185 ページ [終章]186-189 ページ
	地球環境の変動に、近年では人間の諸活動による影響も加わっており、国際社会の協力を通じた視点での解決を考えさせるようにしました。また日本の自然環境や科学技術について多面的に扱い、我が国と郷土について理解することにより、これを愛する態度を身に付けられるようにしました（第5号）。	168-169 ページ [1章]170-175 ページ [2章]177、178-179、180-181、182-184、185 ページ [終章]186-189 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・中学校での学習内容とのつながりに配慮し、より学習が深められるよう、既習の内容についても、本文で図表・写真を用いて丁寧に解説しました（学校教育法第51条1号）。 →51、135 ページなど
- ・学習内容を基に、生活のなかでの応用、地球環境に関する課題解決について考えさせるなど、幅広い視野を養い、持続可能な社会づくりの担い手を育てるように配慮しました（学校教育法第51条3号）。 →161-163、182-183、186-189 ページなど
- ・教科書中で使用する書体には、ユニバーサルデザイン書体を使用し、ユニバーサルデザインへの対応を図りました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-79	高等学校	理科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2・東書	地基 002-901	改訂 地学基礎		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、日常生活や社会との関連を図りながら、地学が地球環境の維持に果たす役割について、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実習を行うなどの学習活動を行うことで、地学に対する興味・関心を高めながら主体的な学びを促し、探究する能力を育むことを目指して編修しました。

(1) 目標及び内容への対応

①日常生活や社会、既習事項との関連を図りながら地学についての理解を深める

- 各節の冒頭には、「Let's start!」を設け、日常生活や社会、既習事項との関連を意識しながら学習に取り組めるようにしました。
- 学習内容の要約や、学習内容に関連する気づきについて話すキャラクターを設定しました。
- 見通しをもって学習にのぞめるように各節に「?(学習の問い)」を、自らの理解や学習を振り返ったり整理したりできるように「この節のポイント」を設定しました。

②実習などを行い科学的に探究する力を養う

- 基本的な学習内容と、地学の見方・考え方を養えるわかりやすい実習を扱い、探究的に学習が進められるようにしました。
- 「実習」には、必要に応じて「注意マーク」を付記し、安全に実施できるように配慮しました。
- 身のまわりのものなどで、簡単にできる実習「ちょこラボ」を設け、科学に対する興味・関心を広げられるようにしました。
- 1～4編の編末には、教科書で学習したことに関連する内容で、探究的な過程に沿って取り組める実習を「探究 PLUS」として取り上げました。

③科学的に探究しようとする態度を養う

- 「考えてみよう」「調べてみよう」を設け、学習した内容を主体的・対話的に活用する能力を養えるようにしました。

④地学に対する興味を高める

- 地学の学習において、どこまでが解明されていることなのか、これから解明しなければならないことは何であるのかを常に意識させ、地学的、ひいては科学的なものの見方を身に付けることができるように、最先端の研究やビジュアルな学習内容を「アースペディア」として扱いました。

図書の構成		各編の内容	該当箇所
1編 私たちの大地	1章 大地とその動き	●地球の形と大きさをその解明の歴史を交えて、地球の形が真の球ではないことを探究的に突き止めます。また、地球の層構造やマントルの対流とプレートの動きについて、プレートの3種類の境界について学習します。	10～29 ページ
	2章 地震	●地球上で起こっている地震がどのような場所で起こっているのかについて学習します。	30～39 ページ
	3章 火山活動	●地球上で起こっている火山活動がどのような場所で起こっているのか、火山活動によってつくられる岩石について学習します。	40～61 ページ
2編 私たちの空と海	1章 地球大気の特徴	●地球大気が層構造となっていることを探究的に突き止めます。また、地球大気で起こっている現象について学習します。	62～73 ページ
	2章 大気の特徴とその運動	●太陽放射と地球放射が地球全体でみるとつり合っていることについて学習します。	74～83 ページ
	3章 海水の特徴とその運動	●大気や海水の運動の原因について、地球の熱収支と絡めて学習します。また、大気と海洋の運動は単独で起こるのではなく相互に作用しあっていることを学習します。	84～93 ページ
	4章 日本の天気と気象災害	●日本の天気について、気象災害と防災、災害と人間の関わりという視点で学習します。	94～103 ページ
3編 私たちの宇宙の誕生	1章 宇宙の構造と進化	●ビッグバンによって宇宙が誕生し、私たちの太陽系が形成されたことを中心に学習します。	104～115 ページ
	2章 太陽系の誕生	●太陽系を構成する惑星は、その特徴によって、地球型惑星や木星型惑星に分類されること、太陽の特徴について学習します。また、地球がハビタブルゾーンに位置し、生物が生存できる条件についても学習します。	116～131 ページ
4編 私たちの地球の歴史	1章 地層と化石の観察	●地層の堆積のしかた、堆積岩、地層からわかる情報について学習します。また、示準化石や示相化石から、その生物が生息した時代や環境がわかることを学習します。	132～145 ページ
	2章 古生物の変遷と地球環境	●地球が46億年前に誕生し、海や大気、岩石が形成された過程、生命が誕生し、大気中に酸素が放出されたこと、オゾン層が形成され生命が陸上に進出したことについて、被子植物が登場し、恐竜やアンモナイトが繁栄したこと、哺乳類が多様化し、人類が出現したことについて学習します。また、地球環境の変化が、生物の変遷に影響を与えたことについて学習します。	146～167 ページ
5編 地球に生きる私たち	1章 日本の自然の恵みと防災	●日本の自然の多様性、自然の与える様々な恩恵について、災害と人間の関わりという視点で学習します。	168～175 ページ
	2章 地球環境と私たちの生活	●地球環境の考え方として、時間・空間スケールと地球システムの考え方について学習します。 ●自然環境の変動について、自然環境の変動には人間活動も関わっていることについて学習します。	176～185 ページ
	終章 これからの地球環境	●環境問題に対応するための全世界的取り組みについて、化石エネルギーから代替エネルギーの切り替えや、これからの社会には持続可能な発展が求められることについて学習します。	186～191 ページ

(2) 内容の特色と構成

① 組織・配列・構成

- 地学基礎の「目標」、「内容」及び「内容の取扱い」に示された事項のすべてについて、不足なく取り上げました。
- 内容に興味・関心をもったうえで、見通しをもって探究的な学習に取り組み、振り返りも行えるように、各節は「Let's start!」「?(学習の問い)」「実習」「この節のポイント」を軸とした構成としました。
- 「疑問を喚起する発問」、「学習内容を深める問いかけ」などを示すために、側注に「キャラクター」を配置し、生徒の実情にあわせて学習を深められるようにしています。
- 地学基礎の扱う悠久の時間と広大な空間について、学びの手助けをするための「ナビ」を随所に設けました。
- 参照マークや参照ページを用いて、学習内容の関連を示しました。
- 「コラム」では、学習内容の理解を深めるための興味深い話題を取り上げています。
- 各編末には、その編の学習内容を確認する「学習のまとめ」「編末確認テスト」を設けました。さらに、巻末には「チャレンジ問題」を設けました。自学自習する際に活用しやすいように、巻末にはすべての問題の解答を掲載しました。

② 表記・表現

- 平易な文章で、わかりやすく、丁寧な記述を心がけるとともに、正確な図表や、美しく内容理解を助ける写真を豊富に掲載しました。
- 重要語句は太字で強調するとともに、すべてにふりがなを付しました。
- 学習指導要領に関連し、より本文を掘り下げた内容は「メモ」にまとめ、本文と区別して扱いました。

③ 印刷・造本上の工夫

- 製本には針金を使用せず、接着剤で製本することで、リサイクル性を重視しました。
- 用紙には再生紙を用い、印刷には植物油インキを使用しています。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しています。
- レイアウト・図版の色づかいなど、ユニバーサルデザインに配慮して編修しました。また、見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザイン書体を使用しました。

④ 教科書を補完する指導書の工夫

- 授業展開例、学習目標・評価規準などがわかりやすく整理された教師用指導書を発行します。指導書付属の動画・アニメーションコンテンツ、デジタル板書などの豊富なデジタルコンテンツが、ICT教育の充実をサポートします。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
	ジオパーク	内容(1)、(2)	①～1 ページ	1
1 編 私たちの大地	編扉	内容(1)ア(ア)(イ)、イ 内容の取扱い(1)ア	10～11 ページ	7
	1 章 大地とその動き	内容(1)ア(ア)(イ)、イ 内容の取扱い(1)、(2)ア	12～29 ページ	
	2 章 地震	内容(1)ア(イ)㊦、イ (2)ア(イ)㊦、イ 内容の取扱い(1)、(2)	30～39 ページ 20～21 ページ	4
	3 章 火山活動	内容(1)ア(イ)、イ (2)ア(イ)㊦、イ 内容の取扱い(1)ア、(2)	40～57 ページ 20～21 ページ	7
	まとめ・編末確認テスト 探究 PLUS 1	内容(1)ア(ア)(イ)、イ (2)ア(イ)㊦ 内容の取扱い(1)、(2)	58～61 ページ 197 ページ	
2 編 私たちの空と海	編扉	内容(1)ア(ウ)、イ 内容の取扱い(1)ア	62～63 ページ	4
	1 章 地球大気の構造	内容(1)ア(ウ)㊦、イ 内容の取扱い(1)、(2)ア	64～73 ページ	
	2 章 大気の特徴とその運動	内容(1)ア(ウ)㊦、イ 内容の取扱い(1)、(2)ア	74～83 ページ	4
	3 章 海水の特徴とその運動	内容(1)ア(ウ)㊦、イ (2)ア(イ)㊦、イ 内容の取扱い(1)ア、(2)	84～93 ページ	3
	4 章 日本の天気と気象災害	内容(2)ア(イ)㊦、イ 内容の取扱い(1)ア	94～99 ページ	4
	まとめ・編末確認テスト 探究 PLUS 2	内容(1)ア(ウ)、イ (2)ア(イ)㊦ 内容の取扱い(1)、(2)ア	100～103 ページ 197 ページ	
3 編 私たちの宇宙の 誕生	編扉	内容(2)ア(ア)㊦、イ 内容の取扱い(1)ア	104～105 ページ	5
	1 章 宇宙の構造と進化	内容(2)ア(ア)㊦ 内容の取扱い(1)ア、(2)イ	106～115 ページ	
	2 章 太陽系の誕生	内容(2)ア(ア)㊦、イ 内容の取扱い(1)、(2)イ	116～127 ページ	4
	まとめ・編末確認テスト 探究 PLUS 3	内容(2)ア(ア)㊦、イ 内容の取扱い(1)、(2)イ	128～131 ページ 197 ページ	
4 編 私たちの地球の 歴史	編扉	内容(2)ア(ア)㊦、イ 内容の取扱い(1)ア	132～133 ページ	5
	1 章 地層と化石の観察	内容(2)ア(ア)㊦、イ 内容の取扱い(1)、(2)イ	134～145 ページ	
	2 章 古生物の変遷と 地球環境	内容(2)ア(ア)㊦、イ 内容の取扱い(1)、(2)イ	146～163 ページ ②ページ	9

	まとめ・編末確認テスト 探究 PLUS 4	内容(2)ア(ア)㊸、イ 内容の取扱い(1)、(2)イ	164～167 ページ 197 ページ	
5 編 地球に生きる 私たち	編扉	内容(2)ア(イ)、イ 内容の取扱い(1)ア	168～169 ページ	3
	1 章 日本の自然の恵みと 防災	内容(2)ア(イ)㊸、イ 内容の取扱い(1)、(2)イ	170～175 ページ	
	2 章 地球環境と私たちの生 活	内容(2)ア(イ)㊸、イ 内容の取扱い(1)、(2)イ	176～185 ページ	3
	終章 これからの地球環境	内容(2)ア(イ)㊸、イ 内容の取扱い(1)ア、(2)イ	186～189 ページ	4
	まとめ・編末確認テスト	内容(2)ア(イ) 内容の取扱い(1)ア、(2)イ	190～191 ページ 197 ページ	
	チャレンジ問題	内容(1)、(2) 内容の取扱い(1)ア、(2)	192～196 ページ 197 ページ	2
	巻末資料	内容(1)、(2) 内容の取扱い(1)イ	198～203 ページ 207 ページ	1
			計	70

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-79	高等学校	理科	地学基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2・東書	地基002-901	改訂 地学基礎		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
16	マントルの組成	1	(1)ア(ア)㊦	0.25
18	地震波速度と層構造	1	(1)ア(ア)㊦	0.25
20	地球の内部構造	1	(1)ア(ア)㊦	2
29	プレート運動の発見の歴史とその後	1	(1)ア(イ)㊦	1
47	マグマが発生するしくみ	1	(1)ア(イ)㊦	0.5
57	鉱物が示す変成作用の温度と圧力	1	(1)ア(イ)㊦	0.5
69	風の吹く向き	1	(1)ア(ウ)㊦	0.75
71	降水のしくみ	1	(1)ア(ウ)㊦	0.75
74	温度と放射の関係	1	(1)ア(ウ)㊦	0.25
76	宇宙空間、大気中、地表での熱収支	1	(1)ア(ウ)㊦	0.25
83	偏西風の蛇行を確かめよう	1	(1)ア(ウ)㊦	0.25
85	海洋の塩分	1	(1)ア(ウ)㊦	0.5
89	深層循環の変動	1	(1)ア(ウ)㊦	0.5
111	銀河内の星の分布	1	(2)ア(ア)㊦	0.5
113	恒星の進化	1	(2)ア(ア)㊦	1
115	太陽活動の地球への影響	1	(2)ア(ア)㊦	0.5
178	太陽放射量の変動	1	(2)ア(イ)㊦	0.25
合 計				10.00

「類型」欄の分類について

- 1… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容